



連携型中高一貫教育講演会

「檻の中のライオン in 常陸大宮」

12月5日（木）、明峰中・小瀬高の全校生徒を対象に、連携型中高一貫教育講演会を開催しました。

今回は、講師として弁護士の椋 大樹（はんどう たいき）さんをお招きしました。

講演では、たくさんのスライドと日本国憲法の書かれた資料を基に、憲法クイズを交えてお話してくださいました。ライオンを「国家権力」に、檻を「憲法」に例えて講演していただきました。社会科の授業で聞いた“基本的人権”とか“立憲主義”など、言葉（語句）を暗記するのではなく、しっかり意味を理解することの大切さを力説していました。



生徒の感想からは、“学校の教科書では教えてくれない細かいところまで教えてくれた”“憲法の話はとも難しかったけど、クイズがあって楽しくできた”“憲法は役人を守るためにあると知ってびっくりした”など、椋先生の講演に引き込まれた様子がわかりました。

レジュメの最後の言葉です。『一人ひとりが、主権者としての自覚を持ち、主権者としての資質を身につける努力をする』

〈知る〉～ニュースに関心を持つ。憲法や時事問題を学ぶ～

〈考える〉～自分の頭で主体的に考える。情報の真偽も自分で考える～

〈行動する〉～自分の意見を述べる。理性的に議論する。選挙で投票する～

会場に集まった一人ひとりが、自分と政治との関わりについて考えるきっかけとなった講演会でした。



継承と開拓～ここにしかない ここだからある～